

#04 「支援機器活用の最前線」 (生活支援機器概論)

超高齢社会を地域で支える「地域包括システム」には、ICTをはじめとする支援機器、福祉用具の活用が欠かせない。ターミナルケアや重度障害を持つ人への機器、施設での介護ロボット利用など、様々な場面で深化が始まっている。第一人者及び現場での実践者から話を聞き、2025年に向けた活用の在り方を考える。

コーディネーター：中村 秀一 教授（医療経営管理分野）
東島 弘子 准教授（福祉支援工学分野）

回	日時	講義名・講義内容（内容は変更になる場合があります）	講師
1	4/14(火) 18:00～19:30	総論：支援機器概論	国立障害者リハビリテーションセンター研究所 顧問 諏訪基
2	4/21(火) 18:00～19:30	総論：介護ロボットの産業化と発展に向けて	日本政策投資銀行 業務企画部 植村佳代
3	4/28(火) 18:00～19:30	総論：2015年介護報酬改定と福祉用具・介護ロボット	厚生労働省振興課 福祉用具・住宅改修指導官 東祐二
4	5/12(火) 18:00～19:30	支援機器開発・活用の最前線	大和ハウス工業 ユニ・チャームヒューマンケア
5	5/19(火) 18:00～19:30	現場からの発信：施設でのコミュニケーションロボット導入事例	(開発)富士ソフト (導入施設) ツクイ
6	5/26(火) 18:00～19:30	現場からの発信：ターミナルケアにおける支援機器	在宅ホスピスとちの木 ホスピスマネージャー・看護師 片見明美
7	6/2(火) 18:00～19:30	現場からの発信：重度障害の人への機器利用	NPOとちぎノーマライゼーション研究会 理事 伊藤勝規
8	6/9(火) 18:00～19:30	体験演習：福祉用具安全確認トレーニングと、認知症安心支援トレーニング	サテライト 代表取締役 堤道成
9	6/16(火) 18:00～19:30	現場からの発信：ケアマネジャーから見た支援機器	前橋市地域包括支援センター西部 主任ケアマネジャー 山田圭子
10	6/23(火) 18:00～19:30	最新事情：特区で行う最新機器の貸与	岡山市 医療政策推進課長 福井貴弘
11	6/30(火) 18:00～19:30	研究の最前線：認知症への機器	国立障害者リハビリテーションセンター研究所 部長 井上剛伸
12	7/7(火) 18:00～19:30	海外事情：中国の支援機器	横浜市総合リハビリテーションセンター 顧問 田中理
13	7/14(火) 18:00～19:30	総括：支援機器の今後に向けて	横浜市総合リハビリテーションセンター 部長 渡邊慎一

会場：主会場－東京青山キャンパス（東京メトロ銀座線・半蔵門線、都営地下鉄大江戸線「青山一丁目」駅3番出口徒歩2分）
サテライト会場－大田原本校、小田原・福岡・大川各サテライトキャンパス（遠隔授業システムによる同時双方向授業）

○インターネット同時中継も行います。

受講料：全13回 39,000円（2名申込 32,000円／1名、3名申込 30,000円／1名、4名以上申込 28,000円／1名）

○今期開講される乃木坂スクールの他の講座（受講料 30,000円以上のもの）を同時にお申し込みされる場合、1講座あたり5,000円の割引があります（割引制度はお一人1種のみ適用となります）。

定員：40名

詳しくはホームページでご確認ください。

<http://www.iuhw.ac.jp/daigakuin/nogizaka/>



医療福祉の多彩なエキスパートを育てる。

国際医療福祉大学

